作成した文書のデータを保存する場所として、ＵＳＢメモリー（USB memory）があります。小さい割に容量が大きくて便利ですが、万一、紛失した時には大切なデータを失ってしまうばかりか、個人情報流出の危険もあります。データ保存もさることながら、保存した媒体の取り扱いについても十分注意が必要です。